

令和3年度 まちづくり懇談会 意見・質疑等要旨  
(医療・保健・福祉グループ：R3.10.14)

(1) ないえ温泉のあり方について

意見・質疑等	回答等
<p>◎利用していた一員としては非常に残念ですが、この経費のかかりようを見たら、とてもじゃないが、町でお金を出すのは限界があって、この辺りで見切りをつけるべきだと思います。本来はもっと夢があり観光地として色々取り組まれていたが、町の財政が厳しい中で、黒字化が出来るのであればいいけれど、それが望めないとするならば、中止するべきだと思います。</p>	<p>◎皆さんからいただいた意見をしっかり受け止めさせていただいて、12月頃には、私の立場で判断させていただいて、皆様にお示ししたいと思います。</p>
<p>◎せっかくある施設だし、キャンプをする人も増えているからそういうのをやったらどうだろうという単純な意見などはあっても、運営となれば全然違うのかなということで、温泉にお金を使う、温泉に投資をすればどこかが削られるということですよ。どこにお金を使うのが一番なのかということ、難しい問題だと思います。</p>	
<p>◎ないえ温泉を大いに利用させていただいていました。温泉を再開することはうれしいことですけれども、やはり役場が建替えられますし、お金がないのではと思うと、私としては難しいことだと思います。</p>	
<p>◎今回の説明を聞かせていただいた限りでは、宿泊客を迎え入れれば何とかかなという方向性が強いのかなと思ったが、私たち町民としては、足がない町民などが、どうやって利用できるかなということをすごく気にしています。町の方で検討しているのは、町民に温泉に入りに来てもらうのと、町外から宿泊客を呼ぶということ、どちらの方向で進めようとしているのでしょうか。</p>	<p>◎今は、どちらの方向でということではなく、温泉の収支というところが、今回の一番のテーマとなっていると思います。運営するとなったときに、そういう課題が出てくるのだと思いますが、それよりも、もうひとつ手前の段階の議論が先に必要ではないかということで、収支が非常に厳しい中で、町が税金を投入して存続させることに対して、皆さんのお考えをお聞きしたいということです。</p>
<p>◎年をとって車のない私たちにしてみれば、温泉がだんだん遠くなってきているの</p>	

<p>で、そこに町の税金を投入して存続することに対して疑問が大きくなってきています。かなり難しいという気持ちが強くなってきています。</p>	
<p>◎ないえ温泉というのは、硫黄分を含んでいて非常に高い評価を受けていたが、資料を見ると、63年ですか、硫化水素というのがキログラムあたり 1.4 mgあったが令和元年には 0.2 mgしかないですね。それで温泉のおいさが全然しないということが非常に聞かれていました。また、一時は源泉があふれる位出ていたと思うのですが、今の状況はどうですか。あと、配管を取り換えてからかなり時間が経っていますので、その辺もお聞きしたい。</p>	<p>◎まず、硫化水素の関係ですが、調査するたび量が減っていることは間違いございません。ただ、温泉成分という部分でいけば、硫化水素ナトリウムの方が満たしていますので、温泉という定義では当てはまっていると思っています。また、最近の源泉の状況でございますが、先月末の時点では問題なく出ていると思いますし、ガスも噴き出しています。においはその日の風の状況にもよりますが、源泉の小屋の中ではにおいがしましたので、量は確かに減っているかもしれませんが、基準的には満たしていると思っております。配管についても、基本的には問題なく今のところは利用できると思っております。</p>

## (2) 奈井江版「生涯活躍のまち」の検討について

意見・質疑等	回答等
<p>◎見守りということを感じたのですが、うまくいっているところもあるようだが、私たちの地区では、見守る側・見守られる側それぞれの負担やプライバシーの問題などがあり、その点はどうかと思います。</p>	<p>◎健康の部分の見守りやコミュニティ組織の活用の部分で、今後の課題となってくると思います。</p>
<p>◎地域運営組織、私の町内や他の町内会でも役員選出などが大変になってきており、区長をやめるために引っ越しをしたという話も聞いている。そういう中で町内会のあり方についてどうあるべきか検討していただきたい。</p>	<p>◎地域運営組織のあり方については、ご指摘のとおり、避けてとおることが出来ない課題だと思っています。市街地だけではなく農村地区も農家数や人口が少なくなっている中で、どういう形で再構築ができるのか、国として示されている事例は、それぞれのまちが何年もかけ作り上げて成功したことが示されており、マニュアルどおりにやれば成功するというのではないが、そういうことも活用しながら、奈井江町らしい再編成というものが出来ないだろうかということ、役場で議論するのではなく、皆さんと一緒に議論していきたい、「これから始まるのだよ」ということでご理解いただきたいと思っています。</p>
<p>◎ピンクの資料の中で、東京圏の一極集中の問題ですが、これまで町でも色々取り組んできたと思いますが、どのような成果がありましたか。</p>	<p>◎一極集中が是正されたかということについては、本当に大きな話であり、私の見解でいいのかどうかわかりませんが、是正されていないと言っていると思います。そんな中で、奈井江町では地域おこし協力隊などの仕組みを使いながら、大都市の人が地方に移住し、そして定住してくれる仕組みを模索していますが、定職を生み一定の所得を得られる場所としては都市部しかやっぱりないのだという流れがあり、そちらに移動してしまっている中で、そこをどうしていくのか、そういうことが課題になっているのだと思っています。</p>
<p>◎人口減少の関係では、まず、人口を増やすためにどうするのかということを考えなければならぬのではないかと。減っていく中での施策だけではだめだと思っています。</p>	<p>◎人口増加につながる対策をとということですが、私は、日本全国の話ですが、これらどんなことがあっても人口増加を求めることは出来ないと思っていますから、少しで</p>

<p>す。人口を増やすために、女性が子どもを産める環境をつくり、国がヨーロッパや北欧のように安心して暮らせる額の手当を出す。そういう安定した環境がなければ改善はしない。コロナではいい経過が出たと思っています。知事を先頭に、地域でコロナ対策に取り組み、それに政府がお金を出す、こういう方法が過疎地から抜け出す大事な方法ではないかと思えます。若い人が結婚し、家を建てられて、車を買ってと。そういうことが今できていないと思うので、そういうことが出来るような方法をぜひ打ち出して取り組んでいただきたい。そういうことをしないと同じことの繰り返しになり、過疎はもっと深刻になると思うので、その辺町長の意見をお伺いしたいと思います。</p>	<p>も人口減少を食い止める施策をしっかりとやっっていかなければならないと思っています。どんなことをしても避けて通れない社会的人口の減、それをどうやって勾配を緩くしていくのかということに力を入れたい、そのためのひとつの方策として、この「生涯活躍のまち」を位置づけたいと思っています。また、出産の支援のための助成金などのことですが、奈井江町単独でこれをするのは出来なくて、難しい課題かなと思います。ただ、全体の話として、しっかりした保育や教育に対するサポートなどが進んでいるところは、若い人たちが田舎であっても魅力を感じて、移住・定住してくれているまちもありますので、そういう所を目指してこの計画を勉強してみたいと思っています。</p>
<p>◎役場の職員やまちの皆さんも、発想の転換というか、奈井江町のいいところをどうやって創るのか、あるものを他にどうやって知らせていくのか、そういう方法を大きな規模で考えて欲しい。例えば私が考えたのは、国道を止めて日本一の綱引き大会をやったら、すごくアピールできると思う。こういう発想がありますか。人を呼び込める方策や他のことであってもどういうことが出来るのかということ、役場の若い人方に考えてもらい、それを町民に出していく、それをきっかけで空き家対策や子育ての問題も少しでも前進できる内容になっていくのではないのでしょうか。</p>	<p>◎一生懸命考えていきたいと思いますが、みんなで考えていかなとなかなかできないのかなと思います。これからも色々なアイデアを出していただいて、みんなでできるかどうかを話し合い、取り組んでいけるものは取り組んでいきたいと思っています。</p>
<p>◎奈井江のまちを良くしていく、あるいは人口減をどうやって抑えていくか、これは行政側がもっと頭をひねって、町外から町内に仕事にこられている方々をいかに少なくするか、これが目の前の課題だと思います。そのために行政がどういうことしなければならぬのか、それをよく考えていただければありがたいと思います。</p>	

### (3) その他

意見・質疑等	回答等
<p>◎病診連携について、新聞報道でしかわからないが、これまで大事にしてきた病診連携を一旦休止にするが、患者の受け入れを止めたわけではなく、今後責任を持って対応すると。これはそれでいいと思うが、問題は、町が病診連携を休止したので、介護施設も病診連携を取りやめたいという通告がきたということですね。確か介護施設を譲渡したときには、奈井江町の病診連携はよく理解しており、その制度は堅持していきたいと言っていたが、町はまだ中止とは言っておらず休止と言っているのに、それに素早く反応して取りやめたいというのは残念だと思う。この報道が正しいのでしょうか。その経緯を詳しく教えていただきたい。</p>	<p>◎町立病院については、内科医師 3 名体制でこれまで続けてきたところ、6 月末に院長先生が退職し 2 名体制になったことで、診療の回数や、入院の患者人数の制限、健康診断などほかの患者様にご迷惑がかからないように経営・運営をしていくところから、7 月 1 日より休止とさせていただいております。医師の確保が整った場合には、また再開に向けて協議を進めさせていただければと考えているところでございます。また、日本介護事業団の介護 2 施設につきましても、現在は休止という形で、町と合わせた対応を取らせていただいております。中止、取りやめということではありませんのでご理解願いたいと思います。</p>
<p>◎コロナになって、色々なことが今までと違うことが起きていると思うのですが、その中で、全国的に女性の自殺率が高いとか女性が暴力を受ける機会が増えているとかで、女性に関する問題というのがクローズアップされていると思います。そういうことを解決するためにも、奈井江町としても、私から見ても女性職員の方たち本当に頑張っているなと思うので、是非、女性幹部をもっと増やしていただきたいと思います。</p>	<p>◎コロナの関係で、女性が大変苦しんでいるということも含め色々悩み事があれば、保健センター等が窓口になっていますので、遠慮なくご相談いただきたいですし、職員の人事もしっかり能力のある人を男女区別なくしているつもりですけれども、改めて肝に銘じて進めさせていただきます。</p>